

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	118	事業名	公共交通ネットワーク構築事業		担当課		企画政策課		
			(中事業名) 公共交通ネットワーク構築事業		予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-5-2 公共交通ネットワーク構築事業		
					決算書ページ		56	57 一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち					
		政策	1	外出しやすい環境の整備					
		施策	(1)	公共交通の利便性の向上					
	その他	開始年度	平成19（2007）年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	道路運送法、公共交通の活性化及び再生に関する法律						
		関連計画	長久手市地域公共交通計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他 対象の数： 61,000人 【事業内容】 長久手市地域公共交通会議を開催し、交通事業者、行政、市民が連携しながら、地域公共交通の確保・維持及び活性化を図り、地域にふさわしい公共交通を構築します。		【アクションプラン指標】 市内各公共交通の利用者数 【単年】 【その他の指標】 ・運営に携わる市民の人数 ・利用促進に関する市の取組の拡大		外出時に公共交通の利用を検討する市民が増加する (成果指標名) 徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際に「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合の減少		過度に自動車に頼る状態から、多様な交通手段を利用する暮らしへの転換を促すため、公共交通の利用を促進し、また、持続可能な交通体系を構築する。	
				大事業共通					

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
活動指標	1	【アクションプラン指標】 市内各公共交通の利用者数【単年】	人	基準値	5,196,000	目標値	5,021,000	5,105,000	5,187,000	5,239,000	5,317,000
				目標値	5,317,000	実績	5,478,000				
	2	【その他指標】 運営に携わる市民の人数	人	基準値	-	目標値	10	10	10	10	10
				目標値	-	実績	11				
	3	【その他指標】 利用促進に関する市の取組の拡大	種類	基準値	-	目標値	3	3	4	4	5
				目標値	-	実績	3				
	4			基準値		目標値					
				目標値		実績					
エピソード	事業開始の背景	現計画となる「長久手市地域公共交通計画（令和6年度から令和10年度まで）」の推進のため、地域公共交通会議や公共交通ネットワーク調査研究会の開催、公共交通応援隊による活動などを実施している。									
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
	R 6	令和7年1月に市及び市民主催による公共交通の啓発や利用促進を目的とした「ながくて公共交通フェスタ」を実施。（来場者：約1,000名。今年度初回。）				R 7					
	R 8					R 9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際に「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合の減少		%	H25 年度		H29 年度		【現状】 R4 年度		R9 年度		R14 年度	
					19.9		26.1		27.8		20		12	
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						5年に1度実施している、公共交通に関する市民アンケートで公共交通利用に対する市民意識の高まりを確認するための指標について調査する。 また、指標目標値の設定については長久手市地域公共交通計画（令和6年3月策定）の中で計画目標及び評価指標として「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合を定めている。					
	評価の理由、分析													
	年々、市内各公共交通利用者数が増加傾向で推移していることから成果指標としている「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合が減少していることに反映されていると考えるため。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		今後も市内公共交通を維持する必要があるため。									
		改善ポイント												
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度				
1	公共交通ネットワーク構築事業	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	今後も公共交通の利用促進及び啓発を継続することにより、利用者の生活形態や身体状況及び地区の特性に合った多様な交通手段を提供することが可能になるため。											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			C. 縮小 D. 廃止			7,736	7,501	3,192	2,569	2,457	
		理由			特定財源	合計額	2,800	0	0	0	0
		R6年度に事業費内の削減可能な項目を見直したため。				(内 国費)					
						(内 県費)					
						(内 諸収入)	2,800				
						(内 その他)					
		積算額			一般財源		4,936	7,501	3,192	2,569	2,457
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞						
道路通行料 13千円（4千円） 普通旅費 13千円（11千円） 地域公共交通会議委員報償金 198千円（198千円） 食糧費 7千円（8千円） 消耗品費 66千円（111千円） 地域公共交通会議負担金 2,160千円（2,860千円）											